

留学生を応援するボランティア活動

留学生のお母さん

に なってみませんか

東京 YWCA 「留学生の母親」運動



「留学生の母親」運動は

◆一人の留学生と一人の会員を組み合わせ、日本の「お母さん」、「サポーター」として、家族のような交流をしているボランティア活動です。

◆公益財団法人東京 YWCA で、国際理解を深め、平和で差別のない社会作りに貢献している会員活動の一つです。

※この交流は、ホームステイが目的ではありません。



2022年度 入会説明会

日時：毎月（11月、12月除く）第3土曜日

15：00～16：00

場所：東京 YWCA 会館（裏面に地図）

またはオンライン（Zoom）

・メール・電話・来館などにて要予約

・予約申し込み締切：参加希望月の第2金曜日

<上記日程以外はお相談ください。>

・交流する留学生との「組み合わせ」は、年1回、2022年度は秋に行う予定です。

■ 予約申し込み・問い合わせ

〒101-0062

千代田区神田駿河台 1-8-11

公益財団法人 東京 YWCA

「留学生の母親」運動事務局

TEL： 03-3293-5424

E-mail:

ryugakusei@tokyo.ywca.or.jp



東京YWCA 「留学生の母親」運動の歩み

この運動は1961年に、一人の母親と一人の留学生との交流という形で始まりました。当時、在日留学生の置かれている状況や受け入れ体制に不備の多いことを知り、何か私たちにできることはないかという気持ちから、「住まいは離れていても、家族の一員として息の長い交流を」と考え、これを東京YWCAの会員活動として続けることになりました。以来、日本の受け入れ体制や世界情勢の変化とともに、活動の内容も広がり、現在までアジアを中心に**85カ国/地域、4594人の留学生**との家庭的な交流を持つことができました。留学生との交流を通し、私たちの目は世界に向かって開かれ、平和への思いを一層深めてきました。60年以上のあゆみの中で、さまざまな問題に直面し、その解決策として、「留学生資金」、「奨学金制度」を設立しました。時代は変わりながらも、その時々ができる留学生たちへのサポートをしていきます。また留学生の要望を受けて「留学生談話室」が開設されています。現在、「留学生の母親」運動に参加している会員は約160人です。

沿革

- 1961 東京YWCA 「留学生の母親」運動発足
- 1961 「留学生の母親」運動会員と留学生の最初の「組み合わせ」誕生
- 1968 留学生問題研究会（JAFSA）入会（1998年まで理事）
- 1970 東京外国語大学附属日本語学校国費生との組み合わせ
- 1973 私費留学生を積極的に受け入れ、福祉基金・資金小委員会発足
- 1979 留学生談話室開室
- 1982 奨学金制度発足。談話室日本語補習教室開始
- 1984 YWCA方式による在留身元保証人制度スタート。第1回留学生日本語弁論大会
- 1989 民間3団体（「留学生の母親」運動含む）による留学生相談ネットワーク発足
- 1990 留学生相談室開室
- 1995 留学生相談ネットワーク3団体による「阪神淡路大震災被災留学生勉学支援奨学金」実施
- 1996 外国人学生の在留手続きに関する身元保証書廃止に伴いYWCA方式による在留身元保証人制度終了
- 2001 「留学生受け入れ制度100年記念留学生交流功労者」表彰（文部科学省）
- 2002 国際交流奨励賞受賞（国際交流基金）
- 2008 25周年記念留学生日本語弁論大会開催
- 2011 50周年記念「ホームカミングデー」シンポジウム「外国人とともに歩む社会」
- 2021 「留学生の母親」運動60周年を迎えた

■東京YWCAまでのアクセス■



- * JR「御茶ノ水駅」より徒歩4分
- * 東京メトロ千代田線・「新御茶ノ水駅」より徒歩4分
- * 東京メトロ丸ノ内線・「御茶ノ水駅」より徒歩5分
- * 東京メトロ半蔵門線・「神保町駅」より徒歩8分
- * 都営三田線・「神保町駅」より徒歩8分
- * 都営新宿線・「神保町駅」より徒歩8分